

平成 27 年度施政方針

3月定例議会が2月19日から3月25日まで開かれ、五位塚剛市長は平成27年度の施政方針を述べました。
今回は、その施政方針および予算の概要をお知らせします。



平成27年第1回曾於市議会定例会が

開会されるにあたり、市政運営に臨む私の姿勢と所信の一端を申しあげますとともに、平成27年度の一般会計予算案の重点施策など、その概要についてご説明申し上げます。

本市におきましては、国の地方創生戦略に対応するとともに、この10年間で約5千人もの人口が減少している事実と超高齢化に対する危機意識を市民全体で共有し、市民が安心して働き、希望通り結婚し子育てができ、将来に夢や希望を持つことができるような魅力あふれる地域社会を実現していくため、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施していく曾於市地域創生推進本部を設置した

ところです。

私は、市長当選後1年と7カ月が経過致しましたが、曾於市民の皆様と約束しました公約の実現に、今後も更に努力してまいる所存でございます。

まず、末吉地区のフラワーパーク等の建設事業跡地につきましては、若者の雇用の場として、企業誘致に努力してまいります。

敬老祝金支給につきましては、引き続き75歳以上の全員に3千円のお祝いを支給致します。

また、お年寄りの方々など買い物弱者救済のために、市内3カ所の道の駅から宅配事業を開始し、高齢者の健康状態を把握するとともに、健康保健・福祉事業に活用してまいります。

子育て支援の立場から、保育園・幼稚園等の保護者負担金の軽減や高校3

年生相当時までの医療費の無料化を継続して実施し、安心して子育て出来る環境づくりを進めてまいります。

曾於市思いやりふるさと寄附金につきましては、寄附金をいただいた方々へのお礼として、特産品の贈呈を昨年9月から始めまし

たが、4カ月間で、全国各地から1万3千人を超える皆様に、2億2千万円の寄附金をいただきました。曾於市を応援くださいました全国の皆様



に、心より感謝申し上げます。27年度は、更に、特産品の品目を増やし、地域活性化と曾於市のPRに努めてまいります。

さて、平成27年度は、3町が合併し曾於市が誕生してから10年目の節目となりますが、これを記念しまして合併記念事業に取り組みます。まず、初めに、NHKのど自慢が、全国から多数の応募があつた中から、6月28日の日曜日に、大隅文化会館で開催される事が決定しましたので、御報告するとともに、市民の皆様は大変喜んでいただけるものと思っております。また、曾於市には、桜の花を楽しめる、大隅弥五郎伝説の里があります。ここを、早咲きのカワヅ桜に始まりソメイヨシノ、

そして遅咲きの八重桜と長期にわたり桜の花を楽しむことができる、南九州一の桜の名所を目指し、桜の植樹に取り組んでまいります。

まちの発展には、産業の振興が欠かせません。曾於市は、畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産が大きく増えることが本市発展の基本であります。特に水を利用した農作物の特産化を推進するため、畑かん利用の営農対策を強力に推し進め、農家収益を増やしたいと考えています。また、里芋の作付けを拡大し、加工および販路拡大を目指したいと考えています。

まちづくりは、人づくりであり本市発展の基本となるものです。小中学校の学習環境整備を積極的に進めるとともに、曾於高等学校への発展にも積極的に関わり、例えば、野球・サッカー等を含めたスポーツでの優秀な人材の育成や、国公立大学へ多数合格できる学力優秀な人材の育成に對しまして、学校と連携し支援してまいります。

平成27年度の予算編成は、26年度に引き続き、市民の皆様にかれた市政を目指すとともに、農畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進し、子どもからお年寄りまで、笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため、「①市民にやさしい市政運営」、「②人と自然を生かした活気ある地域づくり」、「③教育・文化を促進し心豊かなまちづくり」、「④人口増対策を目指すし、地域活

曾於市総合振興計画基本理念

豊かな自然の中で 生命の鼓動を感じるまちづくり

平成 27 年度予算編成方針

- ①市民にやさしい市政運営
- ②人と自然を生かした活気ある地域づくり
- ③教育・文化を促進し心豊かなまちづくり
- ④人口増対策を目指すし、地域活性化を推進
- ⑤農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり



性化を推進」、「⑤農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり」の5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成致しました。

その結果、平成27年度の一般会計当初予算は、231億円となり、前年度当初予算に對して、21億6千万円、10.3%の増となりました。

また、特別会計予算におきましては、予算総額が、132億2220万7千円となり、前年度当初予算に對して、8億206万9千円、6.5%の増となりました。

国民健康保険特別会計予算は、医療費高騰や保険税の減収を補うため、一般会計からの法定外繰入金金を9千万円充当して予算編成したところであり、前年度当初予算に對して、6億7445万円、10.8%増の69億3027万2千円となりました。また、笠木簡易水道事業特別会計予算は、2年目となり、鍋・桂地区の配水・給水施設整備を計画しています。

以上、平成27年度における市政運営の基本的な考え方について申しあげましたが、議員各位ならびに市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申しあげる次第であります。

平成27年2月19日

曾於市長 五位塚 剛

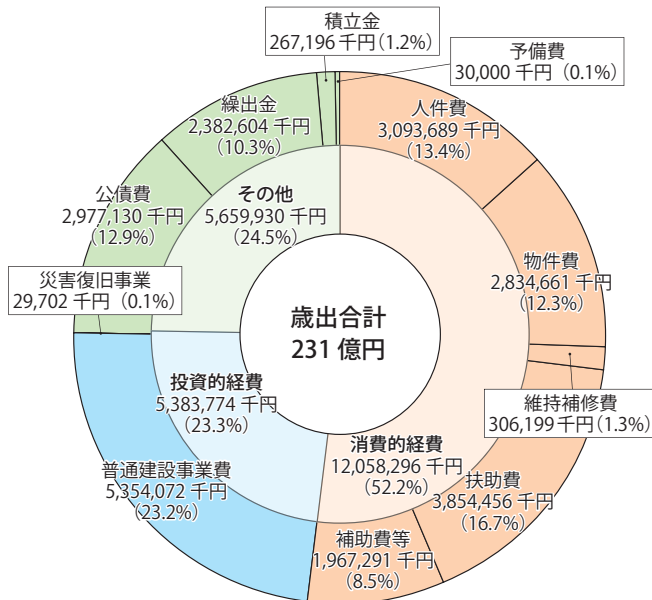
会 計		平成 27 年度額	平成 26 年度額	増 減 額	増減率
一	般 会 計	231億円	209億4,000万円	21億6,000万円	10.3%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	69億3,027万2千円	62億5,582万2千円	6億7,445万円	10.8%
	後期高齢者医療特別会計	5億3,673万1千円	5億3,597万4千円	75万7千円	0.1%
	介護保険特別会計	52億1,612万9千円	50億7,558万8千円	1億4,054万1千円	2.8%
	公共下水道事業特別会計	2億319万2千円	2億1,385万2千円	△1,066万円	△5.0%
	生活排水処理事業特別会計	1億1,462万6千円	1億1,331万3千円	131万3千円	1.2%
	笠木簡易水道事業特別会計	2億2,125万7千円	2億2,558万9千円	△433万2千円	△1.9%
	合 計	132億2,220万7千円	124億2,013万8千円	8億206万9千円	6.5%
水道事業会計（収益的支出および資本的支出）		8億8,215万4千円	7億4,708万8千円	1億3,506万6千円	18.1%
合 計		372億436万1千円	341億722万6千円	30億9,713万5千円	9.1%

平成 27 年度一般会計当初予算

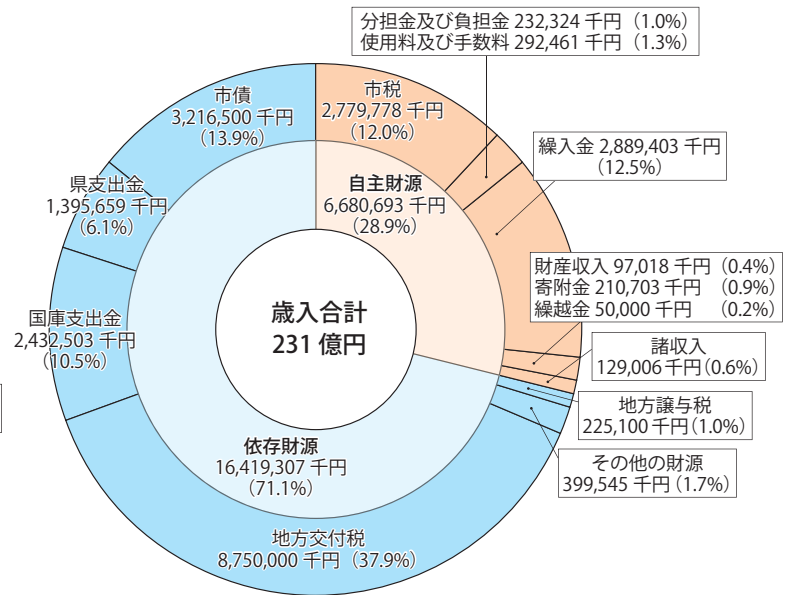
～ 市民の目線に立ち、小さな声も大切にする市政を目指します。～

一般会計歳入歳出総額 231 億円

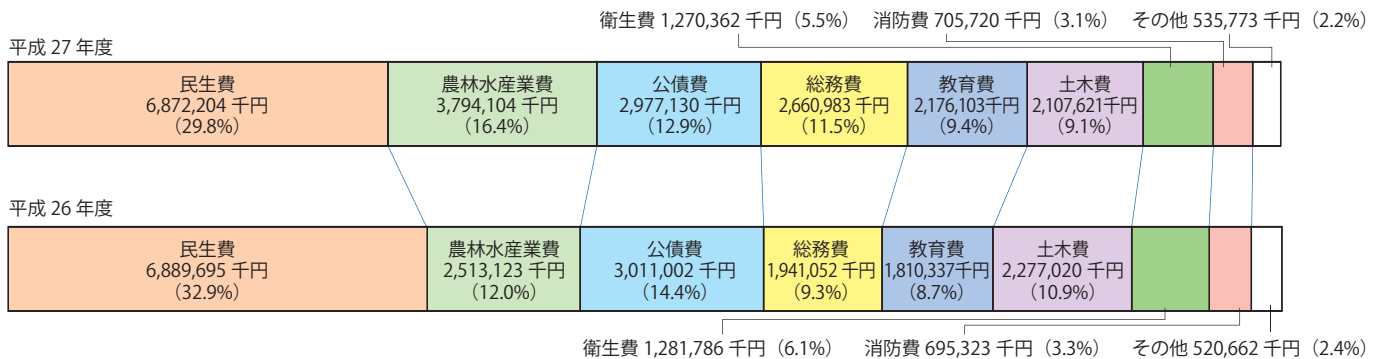
歳出の性質別分類の状況



歳入の状況



歳出の目的別分類の状況



曾於市の平成27年度当初予算は、平成27年第1回市議会定例会で3月25日に可決しました。

この予算は、小さな声も大切に、市民に開かれた市政を目指すとともに、農・畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を推進し、子どもたちの笑顔が輝き、お年寄りまで元気なまちづくりを目指すため、「市民にやさしい市政運営」、「人と自然を生かした活気ある地域づくり」、「教育・文化を促進し心豊かなまちづくり」、「人口増対策を目指し地域活性化を推進」、「農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり」の5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成致しました。また、一般会計当初予算の総額は、231億円で、平成26年度と比較して21億6千万円、10.3%増の予算となりましたが、市税等の自主財源の大幅増は見込めないことから、一般財源の不足額約28億8940万円を財政調整基金等の取り崩しで対応しました。

市民一人あたりの予算

平成 27 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (38,507 人)

市民 1 人当たりの市税負担額 総額 72,188 円		市民一人あたりの予算額 総額 599,890 円 (主なものは下記のとおりです。)				
市民税 23,510 円	固定資産税 36,372 円	議会費 5,504 円	総務費 69,103 円	民生費 178,466 円	衛生費 32,990 円	農林水産業費 98,530 円
		議会の運営に要する経費。 	職員管理、庁舎や財産の管理、選挙、戸籍および市税の賦課徴収等の行政運営全般に要する経費。 	子どもや高齢者、障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費。 	保健衛生や環境等の健康で衛生的な生活環境を送るために要する経費。 	農業や畜産業、林業等の振興のための事業に要する経費。 
軽自動車税 3,341 円	たばこ税 5,349 円	商工費 6,792 円	土木費 54,733 円	消防費 18,327 円	教育費 56,511 円	公債費 77,313 円
		商工業の振興や観光振興、企業誘致を推進するために要する経費。 	道路や橋、河川、公園等住環境を整備するために要する経費。 	火災や風水害等の災害から市民の生命と財産を守るために要する経費。 	学校や教育施設の整備、教育や生涯学習、文化、スポーツ等の振興のために要する経費。 	市の借入金の返済に要する経費。 

平成 27 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (38,507 人) で、市民一人あたりに換算してみますと、歳入のうち「市税」は、市民一人当たり 72,188 円の負担となりました。歳出を目的別にみても、市民一人あたりに使われるお金は、総額で 599,890 円となりました。最も多いのが、子どもや高齢者、障がい者など福祉のための予算 (民生費) であり、これまでに道路や建物等の施設整備のため借りたお金の返済のための予算 (公債費) や農業振興のための予算 (農林水産業費)、土木費、総務費などの構成比が大きくなっています。また、平成 26 年度と比較すると教育費や民生費が増となり、総務費や農林水産業費が減となっています。

皆さんから納めていただく市税と事業などに使われるお金では、一人当たり 527,702 円の差 (支出 599,890 円 - 収入 72,188 円) となっていますが、この不足額の大部分が「地方交付税」や国・県からの支出金、市債などでまかなわれることになります。

曾於市を一般家庭にたとえてみると

国をはじめ地方自治体の財政状況が厳しいといわれる中、曾於市の財政はどんな状況でしょうか？

平成 27 年度一般会計予算の収入と支出の状況について、一世帯あたりの平均所得である年額 537 万 2 千円 (平成 24 年国民生活基礎調査より) の家計に置き換えてみました。収入は、月収とパート等の副収入を合わせて 87 万円ですが、食費や光熱費、家族の医療費、子どもへの仕送り、町内会費、ローンの返済や古くなった家の改築費などの費用のため、支出額は 537 万 2 千円となっています。

そのため、親からの仕送り (国や県等からの補助金) に頼ったり、銀行からの借金 (市債) や預金 (基金) の引き出しによって、やり繰りをしています。

収 入				支 出			
項 目		金 額	構成比	項 目		金 額	構成比
自主財源	給料 (市税)	64 万 6 千円	12.0%	食費 (人件費)		72 万円	13.4%
	パート収入やアパートの家賃収入等 (使用料手数料、雑収入等)	22 万 4 千円	4.2%	光熱水費、日用雑貨 (物件費)		65 万 9 千円	12.3%
	預金の取り崩し (繰入金)	67 万 2 千円	12.5%	医療費 (扶助費)		89 万 6 千円	16.7%
	前年度からの繰越金 (繰越金)	1 万 2 千円	0.2%	ローンの返済 (公債費)		69 万 2 千円	12.9%
	親からの援助 (地方交付税、国県支出金等)	307 万円	57.2%	子どもへ仕送り (繰出金)		55 万 4 千円	10.3%
財源依存	借金 (市債)	74 万 8 千円	13.9%	家の新築増改築費、自動車等の購入 (投資的経費)		125 万 2 千円	23.3%
	合 計	537 万 2 千円	100.0%	自治会費、サークル費 (補助費等)		45 万 8 千円	8.5%
				定期預金 (積立金)		6 万 2 千円	1.2%
				家などの修理 (維持補修費)		7 万 1 千円	1.3%
				投資および出資金		1 千円	0.0%
				予備費		7 千円	0.1%
				合 計		537 万 2 千円	100.0%

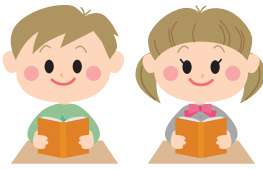
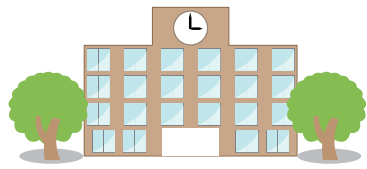
※ () は、予算上の区分を表しています。

5つの主要施策 主な事業



(単位:千円)

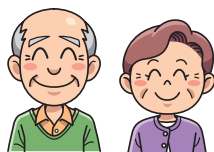
快適で安心してくらせるまちづくり【都市基盤・生活環境】		
道路交通体系の整備	ごみ処理およびし尿処理対策	住環境の整備
市道や排水路等の整備 961,216 思いやりバス等の運行事業 79,113 	ごみ減量対策費 163,852 クリーンセンター管理費 150,810 クリーンセンター施設整備事業 9,181 合併浄化槽設置整備事業（個人型） 62,532 合併浄化槽設置整備事業（市町村型） 47,652 公共下水道整備事業 19,582 	財部前玉団地住宅建設事業 141,237 地域振興住宅建設事業 158,150 川内団地・天神丘団地・中野団地 改善工事 24,535 危険廃屋解体撤去補助事業 33,000 住宅リフォーム促進補助事業 19,500 住宅用太陽光発電設備設置補助事業 5,000 公園整備事業（グラウンドゴルフ場整備） 52,851
自然環境の保全・活用	消防・防災の充実	交通安全・防犯・消費生活相談の強化
小規模水道施設整備補助事業 1,500 	大隅曾於地区消防組合負担金 434,432 消防団活動費 158,745 財部七村分団・財部南分団・大隅笠木分団の消防車輛購入 44,757 防火水槽設置整備事業 32,316 	交通安全施設整備事業 22,598 地域交通安全対策事業 2,730 消費生活相談の実施 2,722 

個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり【教育・文化】		
人生を豊かにする生涯学習の推進	学びを支える安全・安心な教育環境	新しい時代に生きる力をはぐむ学校教育の充実
生涯学習推進費 13,897 山中貞則顕彰記念事業 23,300 図書館図書購入 10,000 	地産地消振興事業 2,789 穂小屋内運動場改修事業 232,505 大隅北小校舎改築事業 321,307 	ALT 語学指導事業 14,564 学校 ICT 活動支援・人材育成事業 3,009 そおっ子の学力向上プラン 5,361 特別支援教育支援員配置事業 34,275 学力向上支援員配置事業 17,416 高校振興事業 11,372 適応指導教室指導員設置事業 2,021
共に学び触れ合う社会教育の充実	文化財保護と芸術文化活動の充実	地域に根ざした生涯スポーツの推進
チャレンジ・ザ・日本一研修事業 1,046 青少年海外派遣研修事業 3,600 青少年リーダー研修事業 950 「曾於元気だそお」ふるさと事業 6,700 	恒古城跡保存整備事業 4,129 埋蔵文化財発掘調査事業 7,741 自主文化事業の開催 19,045 吉井淳二記念展の開催 3,050 第30回国民文化祭・かごしま2015 17,686 	スポーツ大会等の実施 3,567 ・カヌー大会の開催 ・健康づくり駅伝大会の開催 ・北別府学野球フェスタ 

健やかで共に支え合う福祉のまちづくり 【保健・医療・福祉】		
保健予防・健康づくりの推進		医療体制の充実
母子歯科保健事業	34,396	曾於郡医師会夜間急病センター負担金 12,000
(妊婦・乳幼児健康診査・親子教室・不妊治療助成等)		曾於地域救急医療協議会負担金 4,610
予防事業（結核検診・予防接種等）	97,244	都城地区救急医療センター負担金 51,925
健康増進事業（集団検診・がん検診等）	76,373	在宅当番・救急医療情報提供実施事業 1,603
健康医療電話相談 24 時間事業	4,915	



福祉の充実			
長寿クラブの活動助成	5,367	地域子育て支援拠点事業	21,346
寝たきり介護手当の助成	12,960	(延長保育・一時預かり保育等)	
敬老祝金等の支給	29,930	ひとり親家庭医療費助成事業	19,353
訪問給食サービス事業	111,100	放課後児童クラブ運営の助成	59,766
高齢者見守り対策事業	11,235	子ども医療費の助成	107,374
緊急通報システム設置事業	12,546	(18歳に達する日以降の最初の3月31日まで)	
		児童手当費	532,331
		認定子ども園・保育園等の運営費	1,117,420
		第3子出産祝金の支給	6,009
		保育料の低減（市単独分）	45,000
		子育て世帯臨時特例給付金給付事業	17,770
		重度心身障害者医療費の助成	115,447
		障害福祉サービス費	937,637
		国民健康保険会計への市単独助成	90,000
		はり灸・温泉保養への助成	20,520
		認知症対応型グループホーム入所者の負担金軽減の助成	20,520
		臨時福祉給付金給付事業	96,414
		福祉総合相談員設置事業	4,252



人と自然が共生し地域資源を生かしたまちづくり 【産業・経済】			
農林業の振興			
園芸振興事業	18,984	畑地灌漑等の県営事業負担金	429,890
茶振興事業	2,782	市単独の農道改修工事	13,500
環境保全型農業推進事業	9,491	市単独の土地改良補助金	2,550
青年就農給付金事業	15,000	間伐等の促進への助成	12,981
農業後継者等育成対策事業	22,763		
		繁殖雌牛の導入保留助成	32,100
		肥育素牛の導入保留助成	26,100
		酪農振興事業	6,355
		シルバー和牛振興事業	12,200
		牛舎等の施設整備の助成	17,100
		家畜防疫および畜舎等の環境保全事業	11,563
商工業の振興		観光・レクリエーションの振興	雇用の創出
商工会運営への助成	15,265	弥五郎どん祭り運営の助成	4,800
商工業後継者育成事業	10,782	弥五郎どん祭り前夜祭運営補助	900
商工関連設備投資等利子補給	8,116	曾於市民祭運営への助成	9,000
曾於市ブランド確立推進事業	3,899	悠久の森ウォーキング大会	1,400
そこのうまいもんPR事業	101,220	夏祭り運営補助	3,000
企業誘致促進対策費	31,814		
			企業立地促進助成（雇用助成） 10,000
			企業立地促進助成（工場設置助成） 14,664



住民参画による協働のまちづくり 【コミュニティ・行財政】			
自治組織の充実・強化および活動の促進		情報の提供	
自治会振興に対する助成	64,800	市営放送の管理費	54,039
自治会統合に対する助成	620	ホームページ管理費	1,815
自治公民館建設に対する助成	2,500	コミュニティFM放送施設整備事業	
地域づくり活動に対する助成	2,742		438,395

●用語解説●

自主財源	市税をはじめ、使用料や手数料など市が自主的に収入するお金
依存財源	地方交付税や国・県支出金など国や県から交付されるお金
消費的経費	経費の支出効果が、当該年度又はきわめて短期間で終わるものに使われたお金
投資的経費	建物や道路等の建設に使われたお金
人件費	職員や市長、副市長、教育長の給与、市議会議員等の報酬として使われたお金
公債費	市債返済に使われたお金
扶助費	児童手当や生活保護、障がい者福祉、高齢者福祉等に使われたお金
普通建設事業費	建物や道路等の建設に使われたお金
物件費	委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、臨時職員等の賃金、修繕費などに使われたお金
補助費等	消防組合や清掃組合等の運営、団体等への補助金、事業の普及や振興等の補助に使われたお金
繰出金	国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険、公共下水道事業等の特別会計へ支出したお金
積立金	各種事業を行うために貯金したお金